

令和8年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(後期日程)

小 論 文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は4ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があつてから確認し、乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所等がある場合は、ただちに試験監督者に申し出ること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. **解答用紙を持ち帰ってはならない**が、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

【問題】次の文章は、田中輝美著『関係人口の時代』（2025年）の一部である。文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開していません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

出典：田中輝美『関係人口の時代』中公新書、2025年、22-33頁。(出題にあたり、文章の趣旨が変わらない形で原文中の小見出し、本文の一部を省略し、誤字の修正を行った。また、原則として漢数字はアラビア数字に変更した。なお、下線は出題者によるものである。)

(注)「前述の冊子」とは、地域と若者世代をつなぐプログラム「にいがたイナカレッジ」の小冊子『心と身体の旅をする』を指す。コーディネーターを務める井上有紀が、若者世代の視点から見た関係人口の意味を考えたい、と参加者の声をまとめている。(同書、28頁)

【問1】

「関係人口」という言葉が生まれ、広がった現代的背景の一つとして、筆者は「都市の若者世代」の特徴をどのように説明しているか、課題文の内容から 400 字以内で要約しなさい。

【問2】

課題文であげられているような「都市の若者世代」が関係人口として「地域」と繋がることで、都市の若者世代と地域の双方にそれぞれどのような変化がもたらされると考えられるか。あなたの知っている「関係人口」の具体的な事例を取り上げながら、700 字以内で述べなさい。